

天白歴史探訪マップ 野並・相生山緑地 オアシスの森コース (野並～島田)

散策コースご案内

- ①** 約3分 約13分 約15分
地下鉄野並駅 野並八剣社 千秋家墓地
約13分 約11分 約20分
相生山神社 徳林寺 相生口 双子池口
約18分 約3分 約2分
..... 島田城跡 島田交差点 島田地蔵寺

- ②** 約10分
地下鉄鶴里駅 楠町

※所要時間は、分速50m(ゆっくりめで歩く速さ)で表示しています。



野並八剣社

「松」の比定地か?

「小治田真清水」の
鳴海辺りの惣図に
「上ノ松」とある。

「楠」

- 幹回り 7メートル
- 樹高 約22メートル
- 南区保存樹二十四号
- 樹齢千数百年と伝えられる。



島田地蔵寺



島田神社

相生山緑地オアシスの森 相生口

オアシスの森への入口としては、最も便利
市バス「境根」下車、久方交差点から西へ約5分



周岳山政林寺



相生山徳林寺

- 地下鉄出入口
- バス停
- 郵便局
- レスト 飲食店

天白歴史探訪マップ 野並・相生山緑地 オアシスの森コース (野並～島田)

〈企画・作成〉天白ガイドボランティア歴遊会
〈監修〉(故)黒川光雄 〈発行〉天白区役所
〈初版〉平成26年(2014)3月
〈第2版〉令和6年(2024)3月

①鎌倉街道 (上野道)

野並八剣社の裏の細い曲線を描く小道が昔の鎌倉街道の名残りである。この街道は、多くの人が歩いてそこが道になったものである。南へ藤川を過ぎると嫁ヶ茶屋公園がある。街道はここを南下した。

②野並八剣社

創建：不詳

野並の地が熱田大宮司の千秋家の領地であった関係から、熱田神宮にある八剣宮の分霊を当地に祀った。

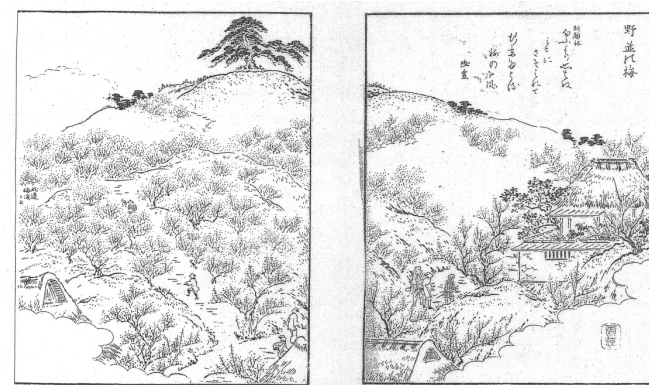
祭神：天照大神、日本武尊ほか7祭神を祀ってある。

③上野山の「聖松」

「尾張名所図会(小治田真清水)」には丘陵地の西端に奇異な一老木が掲載されているが、昭和初期に枯死したといわれ、戦後の宅地造成により比定地は特定できない。年魚市潟を渡るとき、東下りは「上ノ、聖松」を、上りには桜の「楠」を目指したという。

※大宝二年(702)、持統上皇の三河行幸のときにお供をした万葉歌人高市連黒人が、この地の美景を賞して詠んだうたが伝わる(万葉集 卷三(二七一))。

「桜田へ 鶴鳴き渡る あゆち潟
汐干にけらし 鶴鳴きわたる」



尾張名所図会(小治田真清水)より

④相生山徳林寺 曹洞宗

創建：大正末期から昭和初期

開山：石川牧牛素童禅師を開山とし、高岡徹宗が相生山を開発するにあたり、土地を寄進して建立した。

本尊：禅定印釈迦牟尼仏

境内：広さは3.3ヘクタール(約1万坪)あり、散策路、グラウンド(広場)、学童保育所、保育園などがある。ベトナム製の梵鐘と鐘楼は異彩。そのほか小仏塔などもある。また、昭和2年(1927)に、愛知県新十名所で第5位に選ばれたことを記念して投票葉書850万余枚を入れたという葉書塔がある。

(主催は新愛知新聞社、
のちの中日新聞社)

⑤相生山緑地 オアシスの森

野並・相生・山根の3学区にまたがり、123.7ヘクタール(約37万坪)という市内有数の広大な面積をもち、良好な自然を残している。緑地へは、東海通から尾根道へ上がる階段があり、さらに北へ下ると桜並木と住宅が点在する。オアシスの森へは、相生口(トイレあり)・山根口・双子池口・菅田口・菅田西口から入ることができる。

⑥島田城跡

築城：不詳

道路南側の小高い丘が昔の城跡の一部である。

室町時代、尾張・遠江・越前の三国の守護であり、室町幕府の管領家といわれていた斯波高経の末裔である牧氏の城である。

時に織田信秀が、末盛城を築いたのち、鎌倉街道からの攻撃にも備え、小林城(現、矢場町清浄寺)を築き、妹婿の牧長義に守らせていたが、牧長義はその出城として島田城を修築したものである。そして、自分の母方の牧氏一族に守らせたという。

広さは東西約76m(42間)南北約182m(101間)あったが、現在は本丸部分に牧神社を祀るのみである。

⑦古厩山 島田地蔵寺 曹洞宗

嘉吉2年(1442)、斯波一族の樵山和尚が島田山広徳院として建立。延徳3年(1491)、大洪水で破壊されたが、明応9年(1500)、瑞泉寺秀建和尚が再建、島田山地蔵寺に改名。永禄3年(1560)、桶狭間合戦の折、焼失。牧義汎が再建し、古厩山地蔵寺と改名。別棟の地藏尊は「毛替地藏」「雨降地藏」ともいわれている。

本尊：阿弥陀如来坐像

本堂：寄棟造り

⑧島田神社 (元、熊野社)

島田城の鬼門除けの守護神として熊野権現を祀った。明治42年(1909)、村の神々を合祀し、現在に至る。

祭神：伊邪那岐之命、伊邪那美之命をはじめ十一祭神

⑨周岳山政林寺 臨済宗妙心寺派

創建：元亀元年(1570)、加藤図書助順政(熱田船津の豪族)が建立。戦災で焼失し、一時、伝馬小学校跡にあったが、平成3年(1991)、現在地に移転。土原の高台にあり、眺望素晴らしい。

本尊：大悲救苦聖観音菩薩